

令和8年4月8日 10時00分

近畿地方整備局

令和8年度予算の概要について

～近畿地方整備局関係の総額：1兆551億円～

令和8年度国土交通省関係予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」「個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり」を3本柱として、令和7年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進めることとします。

【近畿地方整備局関係の内訳】

■直轄事業費	:	2,886億円
■補助・交付金事業費	:	7,151億円
合計（配分対象事業費）:		1兆37億円
■国庫債務負担行為（ゼロ国債）	:	514億円
合計（配分対象事業費＋ゼロ国債）:		1兆551億円

（注）計数はそれぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合がある。

<取扱い> _____

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ
神戸経済記者クラブ、港湾新聞社、マリタイム・リ・ニュース社、海事プレス、港湾空港タイムズ

<問い合わせ先> 国土交通省 近畿地方整備局 【TEL：06-6942-1141（代表）】

- （予算全般に関する事項について）総務部：会計課長 いしかわ 石川（内線2411、直通06-6946-6752）
：経理調達課長 かとう 加藤（内線6310、直通078-391-7576）
- （予算の概要に関する事項について）企画部：企画課長 たなか 田中（内線3151、直通06-6942-4090）
- （都市・公園に関する事項について）建政部：都市整備課長 おざわ 小澤（内線6161、直通06-6942-1080）
- （住宅に関する事項について）：住宅整備課長 こいたばし 小坂橋（内線6181、直通06-6942-1085）
：建築安全課長 にし 西井（内線6671、直通06-6942-1961）
- （河川に関する事項について）河川部：河川計画課長 にし 西（内線3611、直通06-6945-6355）
- （上下水道に関する事項について）：地域河川課長 はっとり 服部（内線3811、直通06-6942-4407）
- （道路に関する事項について）道路部：道路計画第一課長 なかぞの 中園（内線4211、直通06-6941-7435）
- （港湾に関する事項について）港湾空港部：港湾計画課長 やまだ 山田（内線6450、直通078-391-8361）
：港湾空港整備・補償課長 おおふさ 大総（内線6360、直通078-391-7322）
- （営繕に関する事項について）営繕部：計画課長 たなか 田中（内線5151、直通06-6944-0004）

令和8年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

兵庫県 はりまりんかい 播磨臨海地域道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

滋賀県・京都府 滋賀京都連絡道路

- 事前通行規制等の課題がある国道8号南越前～敦賀^{みなみえちぜん つるが}について、対策(範囲、概略ルート・構造)の検討を実施します。
 - 国道1号堀川通^{ほりかわどおり かめおか}・亀岡方面の京都都市圏及びその周辺地域については、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。
 - 国道8号福井都市圏^{ふくい}や近江八幡^{おうみ はちまん}・野洲間^{や す}については、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。
 - 国道25号名阪国道^{めいはん}の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークのあり方について、調査検討を実施します。
 - 国道175号西脇^{にしわき}・丹波間^{たんば}については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。
 - 大阪中河内地域^{おおさかなかかわち}については、総合的な交通需要を踏まえ、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。
 - 大阪南部^{けいなわ}・和歌山都市圏については、京奈和自動車道の延伸や関西国際空港とのアクセスも含め、大阪府及び和歌山県と連携して幹線道路ネットワークの検討を実施します。
 - 名神名阪連絡道路^{めいしんめいはん}について、計画の具体化に向けて、滋賀県及び三重県と連携して進めます。
 - 山陰近畿自動車道^{さんいんきんきき}について、計画の具体化に向けて兵庫県及び京都府と連携して進めます。
 - その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。
- また、近畿圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。
- さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>

